山病地連Ｐ３－２６号
令和　６年１０月　２日

熊本県知事　木村　敬　様

開設者氏名　山鹿市長　早田　順一

山鹿市民医療センターの地域医療支援病院の業務報告について

このことについて、医療法第１２条の２の規定に基づき、令和５年度の業務報告書を提出します。

記

１－１開設者の住所及び氏名

住所	〒８６１－０５９２ 熊本県山鹿市山鹿９８７－３
氏名	山鹿市長 早田　順一

（注）開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

１－２　病院の名称

山鹿市民医療センター

１－３　病院の所在地

〒８６１－０５９３
熊本県山鹿市山鹿５１１
電話（０９６８）４４－２１８５

１－４　病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	４床	床	床	１９７床	２０１床

菊池保健所 受付 6.10.-3

１－５　施設の構造設備

施設名	設備の概要
集中治療室	（主な設備）人工呼吸、除細動器、心電図、呼吸循環監視装置 血液浄化装置 病床数　　６床
化学検査室	（主な設備）全自動免疫測定装置(HISCL)、生化学自動分析装置(BMZERO)、HbA1c測定器、血液ガス分析装置、多項目自動血漿分析装置(XN2000)、全自動凝固測定装置
細菌検査室	（主な設備）細菌検査システム、ふらん器、冷蔵庫、 オートクレーブ、光学顕微鏡、安全キャビネット
病理検査室	（主な設備）滑走式ミクロトーム、パラフィン包埋機
病理解剖室	（主な設備）解剖台
研究室	（主な設備）OA機器類
講義室	室数　　１室　　収容定員　　７０人
図書室	室数　　１室　　蔵書数　１，０００冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	（主な設備） 保有台数　　１台
医薬品情報管理室	［専用室の場合］　　床面積　３０．０㎡ ~~［共用室の場合］　　○○室と共用~~

（注）　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

2　紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

2－1 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

<table>
<tr><td colspan="2">地域医療支援病院紹介率</td><td>６２．１％</td><td rowspan="2">算定期間</td><td rowspan="2">令和５年４月１日～令和６年３月３１日</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域医療支援病院逆紹介率</td><td>８２．０％</td></tr>
<tr><td rowspan="3">算出根拠</td><td colspan="3">Ａ：紹介患者の数</td><td>２，７０４人</td></tr>
<tr><td colspan="3">Ｂ：初診患者の数</td><td>４，３５６人</td></tr>
<tr><td colspan="3">Ｃ：逆紹介患者の数</td><td>３，５７１人</td></tr>
</table>

（注）１　「地域医療支援病院紹介率」欄は、ＡをＢで除した数に100を乗じて、小数点以下第１位まで記入すること。
（注）２　「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、ＣをＢで除した数に100を乗じて、小数点以下第１位まで記入すること。
（注）３　それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

3　共同利用の実績

3－1　共同利用の実績

①	前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数　1,086件
②	①の医療機関のうち、開設者と直接関係のない医療機関の延べ数　1,086件
③	共同利用に係る病床の病床利用率　４８．２％
④	その他　開放型病床

常時共同利用可能な病床数	5床

3－2　共同利用の範囲等

①	建物 （「全部」若しくは「一部」のいずれかを記載）　全部
②	設備、器械又は器具 （共同利用の対象としているものを具体的に記載）　ＣＴ・ＭＲＩ
③	その他　開放型病床

3－3　共同利用の体制

ア　共同利用に関する規定の有無　有　・　無

イ　利用医師等登録制度の担当者　氏　　名：　宮園　清子
職　　種：　看護師

（注）　共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

3－4　登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住　所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係の有無
別紙①参照				

（注）　当該病院と同一の二次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

4　救急医療の提供の実績

4－1　重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏　名	勤務の態様	勤務時間	備　考
1	医師	別府　透	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	外科
2	医師	石河　隆敏	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	外科
3	医師	尾崎　宜之	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	外科
4	医師	織田　枝理	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	外科
5	医師	辛島　龍一	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	外科
6	医師	工藤　智志	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	整形外科
7	医師	横田　秀峰	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	整形外科
8	医師	中原　達秀	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	整形外科
9	医師	山元　雅典	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	整形外科
10	医師	湯本　みずほ	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	整形外科
11	医師	大庭　圭介	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	循環器内科
12	医師	清水　博	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	循環器内科
13	医師	川崎　修二	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	代謝内科
14	医師	本原　利彦	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	消化器内科
15	医師	上野　茂紀	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	消化器内科
16	医師	竹野　洋司	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	消化器内科
17	医師	吉岡　明子	常勤 専従 非常勤 非専従	38.75時間/週	総合診療科

18	医師	吉岡　優	常勤　専従 非常勤　非専従	38.75時間/週	眼科
19	医師	堀　和樹	常勤　専従 非常勤　非専従	38.75時間/週	緩和ケア内科
20	医師	加納　龍彦	常勤　専従 非常勤　非専従	38.75時間/週	麻酔科
21	医師	相方　靖史	常勤　専従 非常勤　非専従	38.75時間/週	麻酔科

４－２　重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	６床
専用病床	床

（注）　一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

４－３　重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設　備　概　要	24時間使用の可否
救急外来	１０３．３㎡	（主な設備）人口呼吸器、除細動器、心電計、呼吸循環監視装置	可
ＨＣＵ	１９８．２㎡	（主な設備）人口呼吸器、除細動器、心電計、呼吸循環監視装置	可

４－４　備考

救急告示病院　令和４年（２０２２年）１２月　熊本県告示第９１２号

（注）　特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第８号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年７月６日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

４－５　救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	１，２２９人 （　５８６人）
上記以外の救急患者の数	１，９９８人 （　２４７人）
合　計	３，２２７人 （　８３３人）

（注）それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち、入院を要した患者数を再掲すること。

４－６　救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	１台

5　地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

5－1　研修の内容

別紙②参照

5－2　研修の実績

（1）地域の医療従事者への実施回数	１２回
（2）（1）の合計研修者数	４７６人

（注）１　研修実績には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。
（注）２　（2）には、前年度の研修者の実数を記入すること。

5－3　研修の体制

ア　研修プログラムの有無　　有　・　無
イ　研修委員会設置の有無　　有　・　無
ウ　研修指導者

研修指導者氏名	職　種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
（教育責任者の氏名）				年	教育責任者
別府　透	医師	外科	病院事業管理者	40年	教育責任者
石河　隆敏	医師	外科	院長	36年	
大庭　圭介	医師	循環器内科	副院長	21年	
工藤　智志	医師	整形外科	副院長	32年	
吉岡　明子	医師	総合診療科	診療部長	26年	
加納　龍彦	医師	麻酔科	麻酔科医師	54年	12月まで
堀　和樹	医師	緩和ケア内科	緩和ケア内科長	23年	
川崎　修二	医師	代謝内科	代謝内科長	18年	
本原　利彦	医師	消化器内科	消化器内科長	16年	

横田　秀峰	医師	整形外科	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科長	13年	
織田　枝理	医師	外科	訪問看護室長	12年	
清水　博	医師	循環器内科	循環器内科医長	11年	
上野　茂紀	医師	消化器内科	消化器内科医長	9年	
中原　達秀	医師	整形外科	整形外科医長	8年	
吉岡　優	医師	眼科	眼科医長	8年	
山元　雅典	医師	整形外科	整形外科医長	7年	
相方　靖史	医師	麻酔科	麻酔科長	24年	11月から
尾崎　宜之	医師	外科	外科長	22年	
辛島　龍一	医師	外科	臨床工学科長	20年	
湯本　みずほ	医師	整形外科	整形外科医長	6年	
竹野　洋司	医師	消化器内科	消化器内科医長	7年	

（注）　教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

５－４　研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
医療研修センター	５８．９２㎡	（主な設備）プロジェクター、スクリーン、音響機器等
図書室	１５．６０㎡	（主な設備）蔵書数１，０００冊程度、ＰＣ（ＺＯＯＭ、インターネット検索等）
放射線科	４６０．４６㎡	（主な設備）１．５テスラＭＲＩ，３２０列ＣＴ、シネアンギオ装置、骨密度測定装置、マンモグラフィー撮影装置、一般撮影装置（２台）、透視装置、回診用ポータブル撮影装置
検査室	３７１．５１㎡	（主な設備）多目的生化学自動分析装置、自動免疫測定装置、尿自動分析装置、血液ガス分析装置

6　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者の職・氏名	診療部門：事業管理者　別府　透 看護部門：看護部長　野中　理佳 事務部門：事務部長　木村　隆男
管理担当者の職・氏名	診療部門：院　長　石河　隆敏 看護部門：看護部長　野中　理佳 事務部門：事務部長　木村　隆男

		保管場所	分　類　方　法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等		担当課・科・室にて保管	電子化（電子カルテ）と台帳（紙）管理を併用している
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室	データと台帳（紙）管理を併用している
	救急医療の提供の実績	看護部	データと台帳（紙）管理を併用している
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	データと台帳（紙）管理を併用している
	閲覧実績	医事課	データと台帳（紙）管理を併用している
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	データと台帳（紙）管理を併用している

(注)　「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

7　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者の職・氏名	山鹿市病院事業管理者　別府　透
閲覧担当者の職・氏名	事務部　事務次長・医事課長　髙山　英雄
閲覧の求めに応じる場所	会議室・医療相談室
閲覧の手続の概要 ① 診療情報開示申請書の受付 ② 医事相談会に諮問し開示可否の判断（受理後１５日以内） ③ 事業管理者による決定 ④ 開示日程の調整 ⑤ 決定通知 ⑥ 開示 ⑦ 各記録（診療情報開示申込書、医事相談会の議事録、申込者への回答文書、開示時の開示状況の記録等）の保存医療	

前年度の総閲覧件数		５５件
（再掲） 閲覧者別の件数	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	５５件

（注）　閲覧件数については、前年度の延べ数を記入すること。

8　医療法施行規則第９条の１９第１項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	４回

委員会における議論の概要
・紹介患者数・逆紹介患者数について ・紹介率・逆紹介率について ・ＣＴ・ＭＲＩ共同利用について ・開放型病床登録医数について ・救急外来診療状況ついて ・くまもとメディカルネットワーク同意書件数について

（注）　委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

9　患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（　　）
主として患者相談を行った者 （複数回答可）	立野　裕美（社会福祉士） 徳永　心慈（社会福祉士） 岩本　毅　（社会福祉士） 野嶋　優平（社会福祉士） 上原　健嗣（社会福祉士）
患者相談件数	２，５９９件

患者相談の概要
・医療費の支払いについて ・医療費の各助成制度について ・介護保険制度について ・身体障がい者手帳の申請について ・障害年金の申請について ・生活保護について ・特定疾患・労災等について ・更生医療・育成医療について ・社会資源の活用について ・ケアカンファレンスについて ・地域包括ケア病棟について ・転院・転設について ・その他（ＩＣ・内服薬・給食・栄養）について

（注）　患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。
また、個人が特定されないよう配慮して記載すること。

１０　地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

都道府県知事が定めた内容
ア）医師の少ない地域を支援すること。 イ）近接している医療機関と競合している場合は、地域医療構想調整会議における協議に基づき、医療需要に応じ、必要な医療に重点化した医療を提供すること。 ウ）平常時からの準備も含め、新興感染症等がまん延し、又はそのおそれがある状況において感染症医療の提供を行うこと。 エ）平常時からの準備も含め、災害時に医療を提供すること。
実施状況
ア）紹介・逆紹介の推進、医療機器の共同利用、開放型病床の運用等、従来から地域の医療機関と連携し役割分担が十分に図られています。 また、当センターは熊本県地域医療拠点病院に指定されており、地域への医師派遣が指定要件となっており、適宜医師会等と協議しておりますが、現状上記記載の通り派遣を要さない状況です。 イ）当センターは、鹿本医療圏における唯一の災害拠点病院、感染症指定医療機関であり、急性期医療、救急医療においても役割分担が図られています。 また、がん診療においては県北唯一の緩和ケア病棟を有しており、手術、化学療法と合わせた質の高いがん診療を提供しています。 ウ）・平常時は、患者の疾患から感染性の有無を判断し。必要に応じて感染症病床（空気感染隔離病室）での管理を行なっています。 ・年に1回、医師会、保健所、地域の感染対策向上加算を算定している医療機関と合同で、新興感染症の発生等を想定した訓練を開催しています。 ・国内外で新興感染症の発生した場合は、対応について院内プロトコルに準じて、関係職員へのシミュレーションや個人用防護具の着脱訓練を行います。また病院利用者への啓発ポスターなどの掲示を行なっています。 ・地域で感染症がまん延した場合は、感染症病床4床に加えて、病棟をゾーニングし病床を追加して、入院患者の受け入れを行なっています。 ・新型コロナウイルス感染症の診療においては、総合診療科医と循環器内科医の２名の医師で入院外来診療を行なっています。 エ）当センターは、従来から地域災害拠点病院として、災害医療の提供に努めており、平成２８年の熊本地震が発生した際は、被災地のＤＭＡＴの派遣や被災地周辺の医療機関からの入院患者受け入れを行いました。 また、平常時から飲料水、非常用電源用重油・入院食・医薬品について、入院患者

１日１５０食、約３日分の備蓄を行っております。
ＤＭＡＴ技能維持訓練には定期的に参加し、災害時の出動に備えています。
地域で医療機関と共同しＥＭＩＳ入力の訓練を行っています。

１１　その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する事項

（注）この項目に関する報告については、任意です。

１１－１　病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有 ・ 無
・評価を行った機関名：日本医療機能評価機構 ・評価を受けた時期：令和５年５月	

（注）　医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

１１－２　果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有 ・ 無
・情報発信の方法：広報紙「つばさ」、ホームページ ・情報発信内容等の概要 広報紙「つばさ」：医療最前線、部門紹介、研修案内、院内行事等等（イベント）等の開催内容報告等	

１１－３　退院調整部門

退院調整部門の有無	有 ・ 無
・退院調整部門の概要	

１１－４　地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定の有無	有 ・ 無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類及びその内容 種類・内容：大腸がん（結腸・直腸術後サーベイ） ：胃がん（術後サーベイ）	

・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

取組み：各診療科へ説明周知を行い、適応患者のスクリーニングを行います。対象患者のスクリーニングシートを作成します。パス使用者に対するサポートスタッフの確保と育成に取組んでいます。

山鹿市民医療センター共同利用規定

平成２７年４月１日制定

（目的）

第１条　この規定は、山鹿市民医療センターの建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具を地域の医療機関の医療従事者を対象に診療、研究又は研修のために開放し、地域の医療機関と相互の密接な連携と機能分担の促進を図り、地域の医療水準向上に貢献することを目的とする。

（共同利用の範囲）

第２条　共同で利用できる範囲については、次のとおりとする。

⑴　開放型病床の利用

⑵　医療機器等の利用

⑶　研修等による施設の利用

（登録医制度）

第３条　第２条第１項第１号及び第２号に定める共同利用については、事前に医療機関名等を登録しなければならない。

（病床利用）

第４条　開放型病床は、共同診療・指導を目的とし５床（２０３号、２０５号、３０５号、４０５号、４０６号）を設置する。

２　開放型病床は、登録医からの紹介患者が優先的に利用できるものとする。

（医療機器等）

第５条　共同利用できる医療機器等は、次のとおりとする。

⑴　コンピュータ断層撮影装置（ＣＴ）

⑵　磁気共鳴画像装置（ＭＲＩ）

⑶　その他、院長が認めるもの

（施設）

第６条　共同利用できる施設は、図書室及び会議室等とし、地域の医療従事者の研修活動等を支援し資質の向上を図るためのものとする。

（共同利用の手続等）

第７条　共同利用に関する詳細な手続等については、別に定めるものとする。

（共同利用の窓口及び担当者）

第８条　共同利用に関する窓口として、担当者を地域医療連携室に配置する。

（その他）

第９条　この規定に定めるほか、共同利用に関して必要な事項は院長が別に定める。

附　則

この規定は、平成２７年４月１日から施行する。

登録医療機関の名簿　　（R6年3月31日現在）

別紙１

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係の有無
井上産婦人科医院	井上　弘一	山鹿市大橋通503-1	産・婦	無
うちだ内科医院	医療法人社団　博英会	山鹿市山鹿343	内・循・胃	無
大坪内科呼吸器科医院	医療法人社団　信栄会	山鹿市昭和町408	内・呼・循・消・小	無
かもと整形外科医院	医療法人　裕貴会	山鹿市鹿本町来民560-2	整・リウ・リハ	無
桑木内科	桑木　敏光	山鹿市鹿本町御宇田650	内・循・消・小・胃	無
小林医院	医療法人社団　小林会	山鹿市鹿北町四丁1705	内・整・麻	無
坂本医院	医療法人社団　坂本会	山鹿市平山5434-1	内・小	無
たなか眼科医院	医療法人　山鹿会	山鹿市山鹿992-8	眼	無
平井・藤岡医院	医療法人　慈愛会	山鹿市鹿本町来民495-1	内・循・小	無
星田内科医院	星田　正勝	山鹿市熊入町123-3	内・消・循・呼・皮	無
前原耳鼻咽喉科医院	医療法人　祐恵会 前原耳鼻咽喉科医院	山鹿市昭和町605	耳鼻	無
まえはら泌尿器科クリニック	医療法人　昭陽会	山鹿市中975-3	泌	無
三森循環器科呼吸器科病院	医療法人社団　三森会	山鹿市大橋通1204	内・呼・循・消・リハ・アレ・神内	無
幸村医院	医療法人社団　幸村医院	山鹿市鹿央町合里411	内・小・外・胃・肛	無
横手医院	医療法人　翠光会	山鹿市津留2086	内・消・呼・放	無
きくか松岡クリニック	松岡　三正	山鹿市菊鹿町宮原86-4	内・消・小・外・皮・泌	無
東内科小児科医院	医療法人社団　東昭会	山鹿市方保田3145-6	内・消・小	無
山鹿回生病院	医療法人　回生会	山鹿市古閑1500-1	精・神・内・内心	無
藤原クリニック	藤原　一徳	山鹿市南島387	整・リウ・リハ・内	無
後藤整形外科医院	医療法人社団　清風会	山鹿市山鹿1326-1	整・リウ・リハ	無
大坂整形外科医院	医療法人社団　征栄会	山鹿市熊入町315	整・リウ・リハ	無
大橋通クリニック	医療法人　菅村会	山鹿市大橋通70	呼・外・胃・整・皮	無
松永整形外科リウマチ科	医療法人　松永会	山鹿市方保田3142	整・リウ・リハ	無
徳永循環器科内科医院	医療法人　山鹿慈恵会	山鹿市山鹿1478-2	内・呼・循・消・小・皮	無
はとの眼科クリニック	医療法人　敬明会	山鹿市鹿本町御宇田722-1	眼	無
原賀歯科医院	原賀　滋久	山鹿市山鹿1番　温泉プラザ2F	歯	無
木下歯科医院	木下　友晴	山鹿市菊鹿町下内田598-1	歯	無
こうずま歯科医院	高水間　間奨	山鹿市大橋通1005	歯	無
河原歯科医院	医療法人社団　河原歯科医院	山鹿市鹿校通り2-2-4　ランバービル1F	歯	無
吉里医院	医療法人　尚徳会	山鹿市古閑1075-9	内	無

登録医療機関の名簿　　（R6年3月31日現在）

別紙１

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係の有無
さがわ医院	佐川　博文	山鹿市山鹿1408-4	内・消・放・胃	無
中川医院	医療法人社団　清松会	山鹿市鹿本町御宇田446	内・呼・循・消・小・胃・整・皮	無
森歯科・小児歯科医院	医療法人社団　天昌会	山鹿市中央通708	歯	無
山鹿中央病院	医療法人　春水会	山鹿市山鹿1000	内・呼・循・消・神内・皮アレ・リハ・放・リウ・心内	無
山鹿温泉リハビリテーション病院	医療法人社団　木星会	山鹿市新町1204	内・放・リハ・神内	無
小嶋歯科医院	医療法人　小嶋会	山鹿市中825	歯	無
神山歯科医院	神山　久志	山鹿市山鹿1719	歯	無
宮坂歯科診療所	医療法人　景人会	山鹿市山鹿332	歯	無
のがみ歯科医院	医療法人社団　のがみ歯科医院	山鹿市南島1143-4	歯	無
木庭歯科小児歯科医院	医療法人社団　健幸会	山鹿市鹿本町来民2217-1	歯	無
小林歯科医院	医療法人社団　小林会	山鹿市鹿北町四丁1632-1	歯	無
田中歯科医院	医療法人　田中会	山鹿市山鹿1504-1	歯	無
平井歯科医院	医療法人　功貴会	山鹿市鹿本町来民698-5	歯	無
たけいち歯科医院	武市　功雄	山鹿市鹿本町高橋香細工1270-3	歯	無
はしもと歯科クリニック	橋本　英樹	山鹿市方保田3497-5	歯	無
はら歯科医院	医療法人　敬信会	山鹿市新町404-6	歯	無
大坂総合歯科	医療法人　桜豊会	山鹿市熊入町263-1	歯	無
保利病院	医療法人　至誠会	山鹿市古閑984	内・循・消・放・外・胃形・脳・整・泌・肛・リハ	無
やまがクリニック	古川　太一	山鹿市方保田3643-1	耳鼻・アレ	無
ふじもと歯科医院	医療法人　グリーンクローバー	山鹿市鹿央町合里672-1	歯	無
あかほし歯科	赤星　一郎	山鹿市方保田2815-1	歯	無
佐藤泌尿器科クリニック	佐藤　誠	山鹿市新町204	泌・内	無
大川内歯科	大川内　雅哉	山鹿市菊鹿町下内田627-3	歯	無

山鹿市民医療センター公開講演会　開催状況

別紙②

2023/4～2024/3

場所：山鹿市民医療センター　医療研修センター

No.	種　別	講演日時	題　　目	講　　演　　者	座　　長	参加人数
1	公　開	2023年4月14日(金) 19:00～	「目が赤い！～眼科を受診すべき充血～」	眼科：木山　優　先生	院長：石河　隆敏　先生	医師：7名 看護師：14名 コメディカル：6名 その他：6名 合計：33名
2	公　開 特　別	2023年5月26日(金) 19:00～	「地域で働く医師を育てる」	熊本大学病院　総合診療科 教授　松井　邦彦　先生	院長：石河　隆敏　先生	医師：11名 看護師：12名 コメディカル：7名 その他：8名 合計：38名
3	公　開	2023年6月9日(金) 19:00～	「外科と感染に関する最近の話題」	院長：石河　隆敏　先生	副院長：工藤　智志　先生	医師：6名 看護師：14名 コメディカル：9名 その他：9名 合計：38名
4	公　開	2023年7月14日(金) 19:00～	「当センターにおける胆のう炎の内科的治療」	消化器内科：上野　茂紀　先生	院長：石河　隆敏　先生	医師：6名 看護師：12名 コメディカル：6名 その他：9名 合計：33名
5	公　開 特　別	2023年10月13日(金) 19:00～	「急激に変化する緩和医療と緩和ケアセンターの役割」	熊本大学病院　緩和ケアセンター 教授　吉武　淳　先生	事業管理者：別府　透　先生	医師：8名 看護師：16名 コメディカル：6名 その他：6名 合計：36名
6	公　開	2023年11月10日(金) 19:00～	「ロコモを知ろう ～骨折リエゾンサービスについても～」	整形外科：山元　雅典　先生	副院長：工藤　智志　先生	医師：5名 看護師：23名 コメディカル：9名 その他：3名 合計：40名
7	公　開 特　別	2024年1月12日(金) 19:00～	「泌尿器科　未知との遭遇」	熊本大学大学院　生命科学研究部 泌尿器科学分野　教授　神波　大己　先生	事業管理者：別府　透　先生	医師：11名 看護師：15名 コメディカル：6名 その他：9名 合計：41名
8	公　開 特　別	2024年2月9日(金) 19:00～	「山鹿市民医療センターが世界の医療をリードする！ ～食道外科医からのメッセージ～」	熊本大学大学院　生命科学研究部 消化器外科学　特任教授　吉田 直矢　先生	事業管理者：別府　透　先生	医師：16名 看護師：16名 コメディカル：5名 その他：14名 合計：51名
9	公　開	2024年3月8日(金) 19:00～	「メタリックステントについて」	消化器内科：竹野　洋司　先生	院長：石河　隆敏　先生	医師：7名 看護師：20名 コメディカル：8名 その他：8名 合計：43名

山鹿市民医療センター公開講演会　開催状況

2023/4～2024/3

No.	種　別	日　　時	名　　称	主 催 / 講 演 者 等		参 加 人 数
1	市民 公開講座	2023年9月9日（土） 14:00～	第5回　市民公開講座 「山鹿でできる肝がんの予防と治療」	主催者：山鹿市民医療センター 共催：山鹿市	地域健診室：保健師　鹿子木　光葉 消化器内科長：本原　利彦 腫瘍内科長：宮本　英明 事業管理者：別府　透 外科医長：織田　枝里 大坂公立大学大学院　客員教授：久保　正二	医師：13名 看護師：18名 コメディカル：14名 その他：20名 合計：65名 一般参加者：96名
2	公開薬剤師 研修会	2023年10月6日（金） 19:30～	第24回公開薬剤師研修会 「ACPって行ったことありますか？ ～皆んなで考えるACP～」	主催者：山鹿市民医療センター 演者：（株）神埼薬局　千代延　誠治　先生	座長：　副薬剤科長　松田　光司	薬剤師：15名
3	緩和ケア 研修会	2023年12月3日（日） 8:30～	2023年　山鹿市民医療センター 緩和ケア研修会	主催者：山鹿市民医療センター 共催者、後援者等：熊本県	主催責任者：別府　透 企画責任者：織田　枝里	医師：0名 看護師：6名 コメディカル：6名 合計：12名